

平成27年度
事業の報告書
(平成27年4月1日▶平成28年3月31日)



【表紙写真について】
ケーブ型敷積船*NSU NEWSTAR*
(載貨重量トン数181,380トン)

証券コード 9110



NSユナイテッド海運株式会社

株主の皆様へ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
平成27年度の定時株主総会を終了いたしましたので、ここに事業の報告書をお届けいたします。

Q 当期の当社を取り巻く事業環境と連結業績を教えてください。

A 平成27年度は非常に不安定かつ厳しい事業環境でしたが、連結業績は売上高1,371億48百万円（前期比204億77百万円減）、営業利益64億75百万円（前期比29億99百万円減）、経常利益40億64百万円（前期比63億16百万円減）、親会社株主に帰属する当期純利益は41億10百万円（前期比45億17百万円減）となりました。

当期における世界経済は、米国経済の好調に支えられ上向くものと見込まれていましたが、中国経済の減速や資源価格の下落など、景気の下振れリスクが台頭したことで不安定な状況が続きました。

外航海運事業につきましては、原油タンカー市況が堅調に推移した一方、ドライバルク市況は極めて低い水準で推移し、厳しい事業環境が続きました。

ドライバルク市況全体は、余剰船腹が解消されないうち、中国経済の減速に伴う荷動きの停滞に回復の兆しが見られず、全船型において過去最低の水準で推移しました。

原油タンカー市況は、新造船竣工量は限定的であったうえ、原油価格の下落に伴う需要喚起により荷動きが活発化したことに加え、船腹需給がより一層引き締まったことから、年度を通して堅調に推移しました。

内航海運事業につきましては、鋼材輸送量は減産の影響により減少したものの、ドライバルク、タンカーともに総じて安定した輸送量を確保しました。

燃料油価格につきましては、当期の外航海運事業



代表取締役社長

小島徹

の平均消費価格（C重油）が前期の半額に迫るほど下落しましたが、期中を通じて下落が続いたため、実際の航海では既に補油した割高の燃料油を使用する結果となり、また、燃料油価格調整条項付きの輸送契約では、運賃減少が続いたことにより、燃料油価格の下落が必ずしも当社の収益改善に結びつきませんでした。

Q 平成28年度は中期経営計画『Unite & Full-Ahead! II』の最終年度ですが、次年度に向けて株主の皆様へメッセージをお願いいたします。

A 数値目標の達成は難しい状況と認識しながらも、新中期経営計画の策定も見据えながら、「新たな発展へのスタート」をスローガンにグループ一丸となり取り組んでまいります。

現状、外航海運市況は厳しい水準で推移し、為替・原油価格など外部環境も不透明な状況が続いて

現中期経営計画のテーマ Unite & Full-Ahead! II

平成26年度～平成28年度
Unite & Full-Ahead! II
～新たな発展へのスタート～

【NSUグループ企業全体の結集により、内外航ともに収益向上を図る】
【大型船型による資源輸送などの強みを伸ばし、プレゼンス向上を図る】

目標と重点戦略

中期経営目標

2018年度連結売上高2,000億円、連結営業利益120億円達成を目標に、ドライバルクを中心とした事業基盤を強化する。

5つの重点戦略

- ① 新日鐵住金(株)グループをはじめとする、国内外の顧客向け輸送サービスの深化・拡充
- ② NSUグループ内の協働・連繫強化による新規商権開拓および獲得
- ③ 安全・安定運航の徹底
- ④ グローバル展開に向けた組織強化と人材育成
- ⑤ 財務体質の強化

いることから上述の中期経営計画の数値目標の達成は厳しい状況と認識しております。

平成28年度は現行中期経営計画の最終年度であり、平成29年度以降を対象とする新中期経営計画の策定を見据えながら、NSUグループ企業全体の結集により内外航ともに収益向上を図るとともに、大型船舶による資源輸送などの強みを伸ばしプレゼンス向上を図るべく、「新たな発展へのスタート」をスローガンに、グループ一丸となり取り組んでまいります。

Q 株主還元に対する考えを教えてください。

A 配当性向は概ね25%とし当期期末配当につきましては1株当たり4円と致しました。

当社は株主に対する利益の還元を経営上重要な施策の一つとして位置付け、将来における安定的な企業成長と経営環境の変化に対応するために必要な内部留保資金を確保しつつ、経営成績に応じた株主各位への利益還元を継続的に行うことを基本方針としております。なお、連結業績に対する配当性向は概ね25%としています。

当期につきましては、中間配当は遺憾ながら見送らせていただきましたが、期末配当につきましては上述の方針に則り、1株当たり4円といたしました。

なお次期につきましては、先述の通り今後の事業環境の見通しは依然として不透明であることから、現時点では中間配当・期末配当ともに「未定」とさせていただきます。

平成29年3月期連結業績予想

■ 売上高	1,280億円 (前期比 6.7%減)
■ 営業利益	52億円 (前期比 19.7%減)
■ 経常利益	36億円 (前期比 11.4%減)
■ 親会社株主に帰属する当期純利益	35億円 (前期比 14.8%減)

事業別の概況

今期のポイント

- ・歴史的な市況低迷の下、効率配船・安全運航に注力し外航海運事業では売上高1,133億53百万円・営業利益50億74百万円となりました。
- ・内航海運事業では売上高233億92百万円・営業利益13億94百万円となり、安定した業績を達成しました。

外航海運事業

■ 売上高

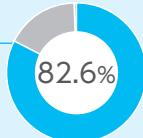
1,133億53百万円
(前期比 14.5%減)



■ 営業利益

50億74百万円
(前期比 34.3%減)

売上高構成比



■ ケープ型撒積船

ケープ型撒積船（18万重量トン型）市況は年間を通して厳しい水準で推移しました。主要5航路平均用船料が年初来、低迷していたものの、スクラップ隻数の増加による船腹供給の引き締めと堅調な鉄鉱石輸送によって需要が支えられ、8月には一時回復しましたが、中国の景気減速に伴う荷動きの鈍化等により再び市況が低迷し、3月には過去最低水準を記録しました。このような環境下、国内外の積極的な営業活動に努めた結果、主要荷主である新日鐵住金(株)殿向け専用船が新たに竣工したほか、海外顧客向けも含め、複数の短期輸送契約を獲得するなど、当初の計画を達成することは出来ませんでした。市況低迷の影響を軽微にとどめました。

■ パナマックス型撒積船

パナマックス型撒積船（7万重量トン型）市況は年間を通じて船舶コストを大幅に下回る水準で推移しました。太平洋水域の市況は7月後半にケープ型撒積船の市況に牽引され若干の反転を見せたものの、その後期待された穀物輸送需要期も例年に比べ低調に推移し、アジアにおける石炭輸送船のスポット需要低迷等を受け下降局面に入り、2月には歴史的な低水準を記録しました。このような環境下、国内電力・一般産業向けへの積極的な営業による安定収益貨物の確保や燃料油価格に見合った航海速力の調整による運航採算の向上を通して低迷する市況の影響を最小限に抑えるべく効率配船に努めましたが、当初の計画を達成することは出来ませんでした。

■ ハンディー型撒積船

ハンディー型撒積船（2～5万重量トン型）市況につきましては、全水域において年間を通じて想定を大きく下回る水準で推移しました。往航主力貨物である北米ガルフ・東岸向け鋼材の荷動きは米国のアンチダンピング措置の影響等により大幅な減少となったものの、中米向け数量が増加したことで全体の数量は微減にとどまりました。復航主力貨物である南米西岸積み非鉄鉱石においては、長期契約の比率を維持し、安定的な収益を確保しました。このような環境下、短期用船比率を高めるなど効率配船に努めたものの、特に下期においてフリー船が市況下落の影響を大きく受け、当初の計画を達成することが出来ませんでした。

平成27年度当社グループ船隊整備実績

(5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	9隻	1,459,004重量トン (K/T)
内航	3隻	6,500重量トン (K/T)

平成28年度当社グループ船隊整備計画

(5年以上の長期用船を含む)

	隻数	総重量トン数 (K/T)
外航	9隻	1,206,650重量トン (K/T)
内航	0隻	0重量トン (K/T)

■ 近海水域における小型船

近海水域における小型船（1.3万重量トン型以下の船型）につきましては、主力の中国向け鋼材輸送では、自動車産業向け輸送は堅調に推移しましたが、家電・OA等その他産業向けは中国経済の減速や現地材起用の影響を受け輸送量が減少しました。このような環境下、燃料油価格下落の効果を享受しつつ、引き続き効率運航の徹底に努め、当初の計画を達成することができました。

■ 油送船

VLCC（30万重量トン型原油タンカー）市況は堅調な推移を見せたほか、VLGC（8万m³型LPG船）市況も底固く推移しました。当社は所有船を定期用船契約で固定しているため市況上昇の影響の恩恵は享受できませんでしたが、安定的に収益をあげました。また当社シンガポール子会社、NS UNITED TANKER PTE. LTD.におけるケミカルタンカー事業は所有船4隻すべてにおいて不稼働時間が減少し、安定運航に努めることで収益をあげました。

内航海運事業

■ 売上高

233億92百万円
(前期比 4.9%減)



■ 営業利益

13億94百万円
(前期比 18.5%減)

■ 内航船

ドライ貨物については、電力関連貨物の輸送は前期並みとなりましたが、鉄鋼関連貨物の輸送は減少し、セメント関連貨物の輸送は堅調でありましたが、全体としては公共工事の減少の影響を受けました。一方で、新規輸送契約の獲得により全体の輸送量は増加しましたが、鋼材を中心とした鉄鋼関連貨物の荷動きの低迷は収益を圧迫しました。

タンカーについては、LNG輸送は、昨年を若干上回る輸送量となり、効率配船・効率運航を努めることにより、安定的な収益を確保しました。

トピックス

平成27年度安全キャンペーン ～無事故無災害を目指してwith Aim for Zero-Accident and Zero-Injury(Ⅱ)～

平成27年10月から平成28年1月にかけて、本年度も安全意識を高めることを目的とした安全キャンペーンを実施しました。安全運航の維持が会社運営の基盤であるとの強い認識から『無事故無災害を目指して with Aim for Zero-Accident and Zero-Injury (Ⅱ)』のローガンの下、社長はじめ当社役員と船舶管理部門のリーダー・担当監督、営業担当者が一緒に、当社所有船を対象に訪船活動を行い、無事故無災害を目指していくことを本船乗組員とともに確

認しました。今後も安定輸送・安全運航に当社グループ一丸となって努めてまいります。



NEW FUTURE 竣工

ジャパン マリンユナイテッド(株) (JMU) 殿にて建造していた次世代省エネ型バルカー「NEW FUTURE」が3月18日に竣工しました。本船は仏ダンケルク港の要求を満足する最大船型でJMU社独自の省エネ装置を多数搭載する最新型のエコシップです。低風圧居住区や低摩擦塗料による抵抗削減等による温室効果ガス削減・燃費の向上に加え、推進性能を高める従来のプロペラ付近の渦エネルギーを回収し推進力に変える省エネ付加物だけでなく、鋭角の船首形状を採用することで波浪中の船速低下の軽減を図っています。上記船型改良による環境負荷軽減に

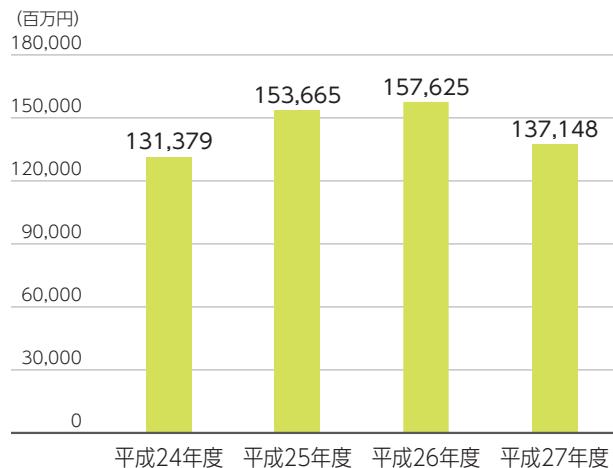
加えバラスト水処理装置を装備しており、当社は世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努めてまいります。



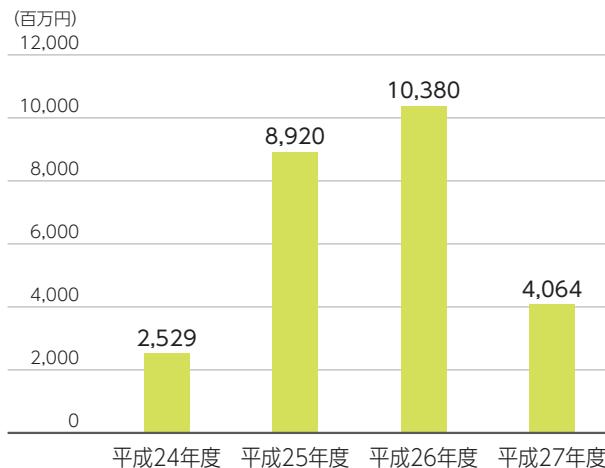
撒積船「NEW FUTURE」(182,598DWT)

連結財務ハイライト

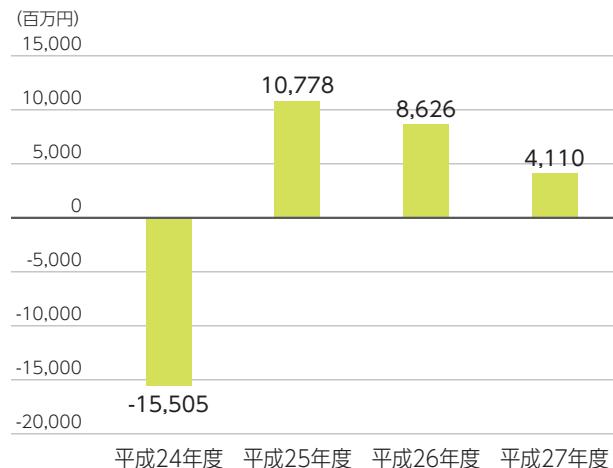
売上高



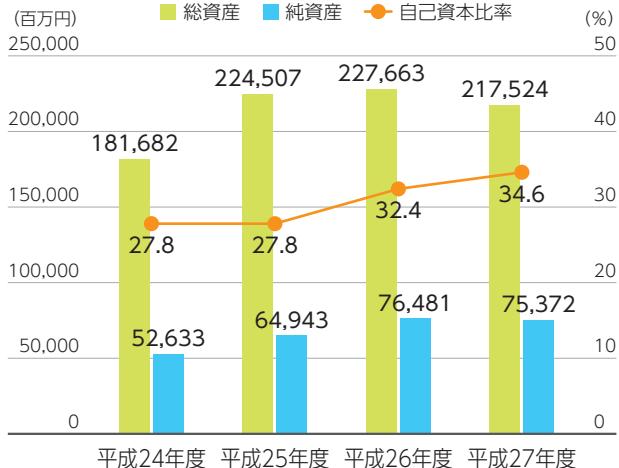
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



総資産・純資産・自己資本比率



連結財務諸表

連結損益計算書 (要旨) (単位：百万円)

	科目	前期 平成26年4月1日から 平成27年3月31日まで	当期 平成27年4月1日から 平成28年3月31日まで
Point 1	売上高	157,625	137,148
	売上原価	141,983	124,502
	売上総利益	15,641	12,646
	一般管理費	6,167	6,172
	営業利益	9,474	6,475
Point 2	営業外収益	2,855	421
	営業外費用	1,949	2,832
	経常利益	10,380	4,064
	特別利益	435	481
	特別損失	124	201
	税金等調整前当期純利益	10,691	4,343
Point 3	法人税等	1,692	260
	当期純利益	9,000	4,083
	非支配株主に帰属する当期純利益	373	△27
	親会社株主に帰属する当期純利益	8,626	4,110

Point 1 売上高

△204億77百万円

市況悪化の影響を受け、売上高が減少しました。

Point 2 営業外損益

△33億17百万円

前期は為替差益25億27百万円計上しましたが、当期は円高により為替差損10億16百万円となりました。

Point 3 法人税等

△14億32百万円

法人税等調整額が10億91百万円減少しました。

連結貸借対照表 (要旨) (単位: 百万円)

科目	前期末	当期末
	平成27年3月31日現在	平成28年3月31日現在
資産の部		
流動資産	66,759	51,979
固定資産	160,904	165,545
資産合計	227,663	217,524
負債の部		
流動負債	38,857	51,260
固定負債	112,325	90,893
負債合計	151,181	142,153
純資産の部		
株主資本	69,829	74,650
その他の包括利益累計額	3,885	702
非支配株主持分	2,768	19
純資産合計	76,481	75,372
負債純資産合計	227,663	217,524

Point

4

Point 4 株主資本

+48億21百万円

当社は株式交換によりNSユナイテッド内航海運株式会社を100%子会社化しました。その結果、新株発行等により資本剰余金が37億48百万円増加し、非支配株主持分が26億49百万円減少しました。

Point

5

Point 5 非支配株主持分

△27億48百万円

連結キャッシュ・フロー計算書 (要旨) (単位: 百万円)

科目	前期	当期
	平成26年4月1日から平成27年3月31日まで	平成27年4月1日から平成28年3月31日まで
Point 6 営業活動によるキャッシュ・フロー	24,581	19,915
Point 7 投資活動によるキャッシュ・フロー	△10,782	△19,326
財務活動によるキャッシュ・フロー	△11,978	△6,909
現金及び現金同等物に係る換算差額	427	△131
現金及び現金同等物の増減額	2,248	△6,450
現金及び現金同等物の期首残高	28,237	30,485
現金及び現金同等物の期末残高	30,485	24,035

Point

6

Point 6 営業活動によるキャッシュ・フロー

△46億66百万円(収入減)

税金等調整前当期純利益が前期比で減少したことが主要因です。

Point

7

Point 7 投資活動によるキャッシュ・フロー

△85億44百万円(支出増)

船舶を主とした有形固定資産、無形固定資産の取得による支出が前期比43億89百万円増となり、設備投資が増加したことに加え、船舶の売却による収入が41億28百万円減少したことが主要因です。

会社の概要 (平成28年3月31日現在)

設立年月日	昭和25年4月1日
主要な事業内容	外航貨物海上運送事業および これに関連または付帯する事業
資本の額	10,300,000,000円
上場取引所	東京（市場第一部）
本社	〒100-8108 東京都千代田区大手町一丁目5番1号 Tel. (03) 6895-6400（番号案内席）
駐在員事務所	ロンドン、香港、上海、ベトナム、マニラ
海外法人	英国、米国、香港、シンガポール、フィリピン
従業員数	陸上183名、海上44名 計227名 (出向者を含みます)
運航船腹量 (単体)	111隻 (1,124万重量トン)

役員 (平成28年6月28日現在)

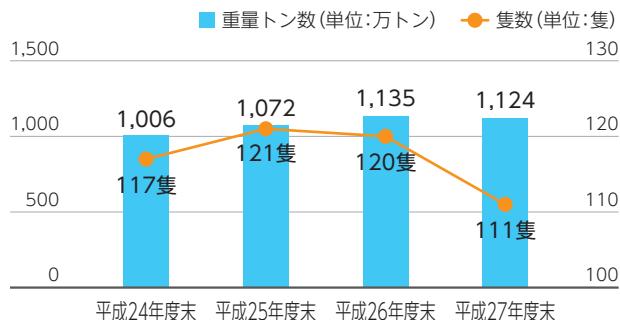
取締役および監査役

代表取締役社長・ 社長執行役員	小 畠 徹
取締役・ 専務執行役員	平 松 宏
取締役・ 常務執行役員	菅 原 泰
取締役・ 常務執行役員	三 浦 和 也
取締役・ 常務執行役員	矢 口 新
取締役(社外)	谷 水 一 雄
取締役(社外)	端 山 真 吾
取締役 (社外・独立)	木 下 雅 之
常勤監査役(社外)	野 口 政 明
監査役 (社外・独立)	高 畑 尚 紀
監査役 (社外・独立)	三 谷 康 人

執行役員

常務執行役員	峯 村 保 広
常務執行役員	小 山 田 充 宏
執行役員	中 田 義 文
執行役員	石 川 寛 二
執行役員	福 田 和 志
執行役員	宮 井 成 彦
執行役員	吉 川 誠

船腹量の推移 (重量トン)



株式の状況

発行済み株式の総数	239,706,793株
株主数	8,515名 (単元未満株主も含みます)
大株主	

株主名	株数(千株)	出資比率(%)
新日鐵住金株式会社	78,612	33.36
日本郵船株式会社	43,247	18.35
東京海上日動火災保険株式会社	10,113	4.29
株式会社みずほ銀行	7,989	3.39
三菱重工業株式会社	5,400	2.29
新健海運股份有限公司	5,048	2.14
三井住友海上火災保険株式会社	5,018	2.13
損害保険ジャパン日本興亜株式会社	4,896	2.08
CBNY DFA INTL SMALL CAP VALUE PORTFOLIO	3,132	1.33
株式会社三菱東京UFJ銀行	2,594	1.10

(注) 出資比率は自己株式 (4,023千株) を控除して計算しております。

主要なグループ会社

NSユナイテッド内航海運株式会社	内航海運業
NSユナイテッドタンカー株式会社	内航海運業
NSユナイテッドマリンサービス株式会社	安全監督・新造船建造監督業
日邦マリン株式会社	船員派遣事業
NSユナイテッドビジネス株式会社	経理業務受託
NSユナイテッドシステム株式会社	情報システムの開発・保守業
NS UNITED TANKER PTE. LTD.	外航海運業

NS ユナイテッド海運グループ

企業理念

I 基本理念

NSユニテッド海運グループは、誠実で良質な海上輸送サービスの提供を通じて社会の発展に貢献します。

II 経営理念

1 (信用・信頼)

信用・信頼される堅実な経営を実践し、グループ全体の企業価値を高めます。

2 (安全運航・環境保全)

常に船舶の安全運航に努めるとともに船舶運航技術の向上に向け日々研鑽を積むことにより海洋をはじめとする地球環境保全の一翼を担います。

3 (お客様への即応・自己変革)

お客様の要請に即応しつつ自らも変革に努め、さらなる進歩を目指して挑戦します。

4 (人を育て活かす)

人を育て活かし、働く喜びを実感できる活力溢れるグループを築きます。

III 企業行動規範

- 1 法令・規則を遵守し、高い倫理観をもって行動します。
- 2 公正かつ自由な競争ならびに適正な取引を行い、政治・行政との健全かつ正常な関係を保ちます。
- 3 広く社会とのコミュニケーションを行い、企業情報を積極的かつ公正に開示するとともに各種情報の保護・管理を徹底します。
- 4 安全・健康で動きやすい職場環境を実現するとともに、従業員の人格と多様性を尊重します。
- 5 社会の一員として、積極的に地域・社会に貢献します。
- 6 反社会的勢力や団体とは一切の関係を持たず、不当な要求に対しては、断固たる態度で臨みます。
- 7 各国・地域の法律を遵守し、各種の国際規範、文化、慣習等を尊重して事業を行います。
- 8 本規範を遵守し、その確実な実行に向けた体制を確立するとともに、本規範に違背する事態が発生した時は、迅速に原因究明と再発防止に努め、的確に説明責任を果たします。

平成25年10月1日

NS ユナイテッド海運グループ

環境方針

- 1 私たちは、世界の海を舞台に海上輸送サービスを提供する海運企業グループとして、全人類の共通財産である地球の環境保全に努め行動します。
- 2 私たちは、環境マネジメントシステムを構築し、継続的改善に努め、汚染の予防に努めます。
- 3 私たちは、船舶の運航及び事務所内活動において適用される環境の法規制及びその他の要求事項を順守します。
- 4 私たちは、各部門において環境方針に適合した環境目的および環境目標を設定し、実施計画に従って目的及び目標の達成に努めます。また環境目的と目標を確実に達成するために、定期的に達成度のレビューを行います。
- 5 私たちは、環境教育・広報活動などにより、NSユニテッド海運グループのために働くすべての人が環境問題に対する意識を高め、本環境方針に基づき、行動するように努めます。
- 6 私たちは、私たちのサービス提供に必要な船舶、機器類、その他の製品および資材の環境負荷の低減を考慮した調達に努めます。
- 7 私たちは、NSユニテッド海運グループ全体で、省エネルギー、省資源の推進を図ると共に、廃棄物の削減及びその適正な処分に努めます。
- 8 私たちは、環境方針及び環境保全活動を必要に応じ公表します。

平成23年6月28日

NSユニテッド海運株式会社
代表取締役社長

小島徹

株主メモ

決算期日	3月31日	株主名簿管理人	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社
期末配当金支払株主確定日	3月31日		
(中間配当金支払株主確定日)	9月30日)	同事務取扱場所	東京都中央区八重洲一丁目2番1号 みずほ信託銀行株式会社 本店証券代行部
定時株主総会開催日	6月下旬		
同総会権利行使株主確定日	3月31日		

	証券会社に口座をお持ちの場合	特別口座の場合
郵送物送付先		〒168-8507 東京都杉並区和泉2-8-4 みずほ信託銀行証券代行部
電話お問い合わせ先		☎ フリーダイヤル0120 (288) 324 (土・日祝日を除く9:00~17:00)
各種手続お取扱店	お取引の証券会社に なります。	みずほ証券 本店、全国各支店および営業所プラネットブース (みずほ銀行内の店舗) でもお取り扱いいたします。 みずほ信託銀行株式会社本店および全国各支店 ※トラストラウジではお取り扱いできませんのでご了承 ください。
未払配当金のお支払	みずほ信託銀行およびみずほ銀行の本店および全国各支店 (みずほ証券では取次のみとなります)	
ご注意	支払明細発行については、右の 「特別口座の場合」の郵便物送付 先・電話お問い合わせ先・各種 手続お取扱店をご利用ください。	特別口座では単元未満株式の買取・買増以外の株 式売買はできません。証券会社等に口座を開設し、 株式の振替手続を行っていただく必要があります。

基準日 上記確定日のほか、必要あるときは予め公告の上、基準日を定めます。

単元株式数 1,000株

公告の方法 電子公告により行う。
公告掲載URL <http://www.nsuship.co.jp/>
(ただし、電子公告を行うことができない事故その他のやむを得ない事由が
生じたときには、東京都において発行される日本経済新聞に掲載されます。)

証券コード 9110

ホームページアドレス <http://www.nsuship.co.jp/> (決算情報などがご覧になれます。)

【単元未満株式に関するお知らせ】

1,000株に満たない株式(単元未満株式)を所有されている株主様が、当社に対しその単元未満株式と合わせて1単元(1,000株)になる数の株式を買増請求できる「単元未満株式の買増制度」を、平成22年10月1日より導入しております。また、単元未満株式の買取請求につきましても、お取り扱いしております。

 **NSユニテッド海運株式会社**
〒100-8108 東京都千代田区大手町1-5-1
大手町ファーストスクエア ウエストタワー
TEL 03-6895-6400

ClassNK 
ISO 9001
ISO 14001

(※)ISO9001は船舶管理部門のみ取得しております。

ホームページのご案内

ホームページでは、IR情報をはじめさまざまな情報をタイムリーに発信しております。是非ご覧ください。



【トップページ】

<http://www.nsuship.co.jp/>

UD FONT

見やすく読みまちがえにくい
ユニバーサルデザインフォント
を採用しています。



環境にやさしい植物油インキを使用している印刷しています。



森林管理協議会(Forest Stewardship Council®)で認証された適切に管理された森林からの原料を含む、FSC認証紙を使用しています。